



学科・専攻	情報システム工学	学籍番号	1815008	氏名	安藤祐斗
題目	ディープラーニングの分散処理を実行する				

## 報告日までの取り組み

PDCA サイクル	設定目標 (P)	A-3 台以上の PC (マスター 1, スレイブ 2) で BIGDL を使い, ディープラーニングの例を実行することを目的としていた. B-ディープラーニングの分散処理によって役立つことを考える.
	取組内容 (D)	A-lenovo と他 3 台の spark と BIGDL の環境設定を行った. B-論文, ウェブサイトで調べる.
	課題整理 (C)	A-lenovo だけディープラーニングの例の実行ができていない. B-ディープラーニングにおける学習速度が向上すること以外にわからなかった. まだ調べ不足だと思った
	改善方策 (A)	A-いくつのコア, メモリを PC に割り当てるかといった分散処理関係の設定の見直しをする. B-分散処理とディープラーニングに関する研究論文を調べる. 英語のものもできるだけ読む.

## 報告日

やりたいこととより, やるべきことを	コメント (出席者)	
	備忘録 (自分)	